

JIA talk

vol.190



松隈洋 [建築史家]

未完としてのモダニズム建築 —記憶すること、伝えることの先に

建築家・前川國男(1905-86年)の最晩年に一所員として接した拙い個人的な経験を起点に、上記のような建築展に携わりながら、モダニズム建築の歴史と方法を研究し、各地の保存活動にも加わってきました。そして、約40年にわたる建築資料とのかかわりの中で、モダニズム建築が切り拓いた世界の持つ歴史的な意味に気づかされました。そこで、未完のプロジェクトとしてのモダニズム建築は何を求めたのか、についてお話したいと思います。

2024年1月16日[火] 18:30-20:30 [開場 18:00] 建築家会館 1階ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-16

主催：公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 JIAトーク実行委員会 協賛：日新工業株式会社/日本アスファルト防水工業協同組合





松隈洋(まつくま・ひろし) | 建築史家

神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授。1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。2008年10月同教授、2023年4月から現職。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。主な著書に、『建築の前夜 前川國男論』、『ル・コルビュジエから遠く離れて』、『モダニズム建築紀行』、『ルイス・カーン』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、『建築家・坂倉準三「輝く都市」をめざして』、『残すべき建築』、『前川國男 現代との対話』(編著)、『建築家大高正人の仕事』(共著)など。「生誕100年・前川國男建築展」(2005年)、「文化遺産としてのモダニズム建築—DOCOMOMO 20選」展(2000年)、「同100選」展(2005年)等、多くの建築展に携わる。DOCOMOMO Japan 代表(2013年5月-2018年9月)。文化庁国立近現代建築資料館運営委員(2013年4月-2020年3月)。同志社大学兼任講師(2009年4月-2012年3月、2018年4月-2021年3月)、京都芸術大学非常勤講師(2011年-)。2019年に著書の『建築の前夜 前川國男論』により日本建築学会賞(論文)受賞。

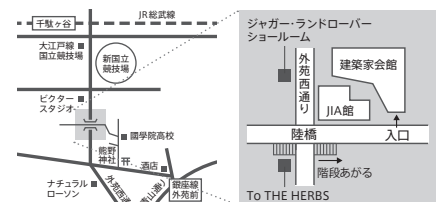
JIAトーク講演者一覧

- 1976年度 西川幸治(京都大学助教授) / 祖父江孝男(国立民俗学博物館教授) / 色川大吉(東京経済大学教授) / 村野藤吾(建築家) / 山口文象(建築家) / 吉村順三(建築家) / 都留重人(経済学者) / 山崎正和(大阪大学文学部教授)
- 1978年度 清家清(建築家) / 池辺陽(東京大学教授) / 長谷川充(建築評論家) / 鈴木博之(東京大学助教授) / 福田繁雄(グラフィックデザイナー) / 秋岡芳夫(工業デザイナー) / 吉田光邦(京都大学教授)
- 1979年度 柳宗理(工業デザイナー) / 山根成之(映画監督) / 高橋誠一(建築家) / 帖佐美行(彫金家) / 黛敏郎(音楽家) / 亀倉雄策(グラフィックデザイナー) / 平山郁夫(画家)
- 1980年度 樋口清之(國學院大学名誉教授) / 小泉文夫(東京芸術大学教授) / 森本哲郎(評論家)
- 1981年度 遠藤武(文化女子大学教授) / 川喜田二郎(筑波大学教授) / 石毛直道(国立民俗学博物館助教授) / 島田一男(聖心女子大学教授) / 山口昌男(東京外国語大学助教授) / 山本七平(評論家)
- 1982年度 東野芳明(多摩美術大学教授) / 安井清(安井空工務店棟梁) / 団伊玖磨(作曲家)
- 1983年度 岩田糸子(ガラス工芸家) / 栗田喜三(穴太衆流13代目) / 下河辺淳(総合研究開発機構理事長) / 今里隆(建築家) / 武満徹(作曲家)
- 1984年度 濱谷浩(写真家) / 黒田光彦(日産自動車設計部) / 朝倉摂(舞台装置家) / 添田浩(日本大学芸術部講師) / 清水達雄(作曲家) / 伊藤謙哉(立教大学教授) / 和泉一哉(日本航空技術部)
- 1985年度 周達生(国立民俗学博物館助教授) / 沈雨晟(人形美術研究家) / 宮脇隆(建築家) / 穆小林(中華人民共和国駐日大使館) / 崔東玉(人民芸術家) / スジャトモコ(国連大学長)
- 1986年度 ポール・チェン / 桐生稔(中部大学国際関係学部教授) / 白川義員(写真家)
- 1989年度 芳野伊孝(映画美術家) / 重森完途(造園家) / 関根伸夫(彫刻家) / 団伊玖磨(作曲家)
- 1990年度 内田正泰(切り紙絵作家) / 細野稔人(彫刻家) / 小塩節(ドイツ文学者) / 佐藤敏直(作曲家)
- 1991年度 五味太郎(絵本作家) / 中村鷹治郎(歌舞伎役者) / 安達以乍牟(浮世絵職人) / 中村八大(作曲家)
- 1992年度 太田愛人(エッセイスト) / 森通(画家) / 海老澤敏(音楽学者) / 大和屋巖(水彩画家)
- 1993年度 吉田文吾(文芸座・人形遣い) / 大岡玲(作家) / 川本喜八郎(アニメーション作家) / 二田原英二(彫刻家)
- 1994年度 大橋力(文部省放送教育開発センター教授) / 谷川俊太郎(詩人) / 細野稔人(彫刻家)
- 1995年度 篠田桃紅(書家) / 伊藤喜三郎(画家・建築家) / 東儀俊美(前宮内庁楽部首席楽長) / ガストン・ブチ(神父・画家)
- 1996年度 田中一光(グラフィックデザイナー) / 沢木耕太郎(ルポライター・作家) / 一柳慧(作曲家・ピアニスト) / 篠田正浩(映画監督)
- 1997年度 柳宗理(インダストリアルデザイナー) / 大岡信(詩人・評論家) / 小島美子(音楽学者) / 二川幸夫(建築写真家)
- 1998年度 J・V スウェーデン(ランドスケープアーキテクト) / 養老孟司(解剖学者) / 日高敏隆(動物行動学者) / 荒川修作(美術作家)
- 1999年度 池田直樹(オペラ歌手・二期会会員) / 千田堅吉+千田郁子(唐長十一代目) / 伊藤ていじ(建築史家) / 永六輔(放送タレント)
- 2000年度 栄久庵憲司(工業デザイナー) / 永井路子(小説家) / 阿川佐和子(著述家) / 湯浅譲二(作曲家)
- 2001年度 三宅榛名(作曲家・ピアニスト) / 池内紀(ドイツ文学者・評論家) / 小川通仁(日本テレビプロデューサー・演出家) / 吾妻兼治郎(彫刻家)
- 2002年度 大友直人(指揮者) / 假屋崎省吾(華道家) / 甲にしき(東京宝塚劇場支配人) / 長尾重武(西洋美術史家・武蔵野美術大学教授)
- 2003年度 篠田正浩(映画監督) / さいとうたかを(劇作家) / 伊藤八十八(ソニーミュージック) / 岸田夏子(画家)
- 2004年度 永田穂(音響設計者) / 桐谷エリザベス(エッセイスト) / 植木浩(元文化庁長官) / 日比野克彦(造形作家)
- 2005年度 押場靖志(イタリア映画研究家) / 安部建一(日本大学・航空研究会顧問) / 高山博(東京大学大学院教授) / コシノ・ジュンコ(デザイナー)
- 2006年度 辻義一(辻留主人) / 井上章一(歴史学者) / 橋都浩平(小児科医) / 島田恭子(陶芸家)
- 2007年度 上村淳之(日本画家) / 舟越桂(彫刻家) / 田原桂一(写真家) / 串田和美(俳優・演出家)
- 2008年度 林望(作家・書誌学者) / 秋山孝(イラストレーター) / 石澤良昭(上智大学学長) / 大林宣彦(映画作家)
- 2009年度 佐藤卓(グラフィックデザイナー) / 三枝成彰(作曲家) / 山下洋輔(ジャズピアニスト) / 田中優子(法政大学教授)
- 2010年度 金澤英明+溝入敬三(バス演奏者) / 新良太(写真家) / アレックスカー(東洋美術・文化のコンサルタント) / 帯津良一(医師)
- 2011年度 NoLi(白瀧徳盛)(ヘアメイクアップアーティスト) / 服部一志(産婦人科医師) / ねじめ正一(詩人・小説家) / 山田洋次(映画監督)
- 2012年度 原研哉(デザイナー) / 加藤久佳(翻訳家) / 白崎容子(慶應義塾大学教授) / 土崎譲(テノール歌手)
- 2013年度 伊藤哲郎(元オリーブ社) / 深澤直人(プロダクトデザイナー) / 星野朝子(日産自動車) / 高野行進(ギター奏者)
- 2014年度 朝吹元+根本英亮(チェロ奏者・ピアノ奏者) / 松本零士(漫画家) / 名和晃平(彫刻家) / 弘中惇一郎(弁護士)
- 2015年度 石川直樹(写真家) / ブルース・ヒューバナー+ジョナサン・カツ(尺八奏者・ピアノ奏者) / ひびのこづえ(コスチューム・アーティスト) / 内原智史+東海林弘晴+武石正宣+東宮洋美+富田泰行(照明デザイナー)
- 2016年度 小西康陽(音楽家) / 諏訪綾子(アーティスト) / BAKIBAKI(アーティスト) / 廣村正彰(グラフィックデザイナー)
- 2017年度 加藤精一(住職) / リシャール・コラス(シャネル株式会社代表取締役社長) / 和田智(カー&プロダクトデザイナー)
- 2018年度 野田秀樹(劇作家・演出家・役者) / 中塚武(サウンドクリエイター・シンガーソングライター) / 仲條正義+服部一成(グラフィックデザイナー) / 齋藤精一(クリエイティブディレクター)
- 2019年度 小松英一郎(宇宙物理学者) / 中塚翠涛(書家) / 佐藤岳利(ワイスワイス代表)
- 2021年度 北村明子(ダンサー・振付家) / 和多利浩一(ワタリウム美術館CEO) / 杉本博司(現代美術作家) / 堀木エリ子(和紙作家) / 本間希樹(天文学者)
- 2022年度 村治佳織(クラシック・ギタリスト) / 真板昭夫(エコツーリズムクリエイター) / 乙武洋匡(作家) / 岩崎駿介(市民活動家・都市デザイナー・建築家)
- 2023年度 伊藤亜紗(美学者) / 山下完和(やまなみ工房施設長)

参加費: 無料

会場定員: 100名(先着順 事前申込をお願い致します ※定員に達し次第申込締切)

お申込みフォーム | 下記URLもしくはQRコードよりお申込み下さい
<https://forms.gle/AzwTmZ47QnMB5UfJ9>



問合せ先: JIA 関東甲信越支部 TEL. 03-3408-8291 メール talk@jia.or.jp